



キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)返還



○上部写真: キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)返還を象徴する鍵の受渡しを行う井上局長(左から3人目) ○下部写真: 返還式典の様子

目次

CONTENTS

キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還	2
キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還式及び祝賀会	3
管内閣官房長官の沖縄訪問	5
北中城村アワセ土地区画整理組合 街びらき開通式	5
与那国島における建設工事安全祈願祭	6
認可外保育施設 中央保育園の防音工事を実施	6
駐留軍用地特措法の規定に基づく使用権原の取得	7
幹部職員の紹介	8
米軍基地での勤務を希望されている方へ	8



キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還について

沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画に基づき宜野湾市に所在するキャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還が3月31日に実現し、4月4日に返還式が行われました。

土地所有者及び宜野湾市長をはじめとする地元の方々のこれまでの御理解・御協力及び早期返還実現のために尽力していただいた米軍関係者に対して感謝いたします。返還跡地には病院、学校、住宅等が計画されており、跡地利用のモデルケースとして期待されています。

ここでは、返還経緯、返還式などについて紹介します。

■キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の概要

- 面積:約51ha
- 区分:国有地約1.7ha、民公有地約49.3ha
- 所有者:約570名
- 住宅:149棟



■キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)返還の経緯

- ・平成25年4月、統合計画において速やかに返還可能と発表。
- ・平成25年4月、国、県、宜野湾市、地主会で構成する跡地利用協議会が発足。(以後返還まで8回開催)
- ・平成25年6月、キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還について日米合同委員会合意。
- ・平成25年10月、沖縄防衛局の斡旋によって、宜野湾市による埋蔵文化財調査(表面踏査)を開始。
- ・平成26年6月、掘削を伴う文化財調査及び支障除去措置に係る調査等のための共同使用に係る日米合同委員会合意。(8月に文化財調査開始、9月に支障除去措置に係る調査等開始)
- ・平成27年2月、返還条件である境界柵設置工事が完了。
- ・平成27年3月、キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)返還

キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)返還式及び祝賀会開催

4月4日、沖縄防衛局、在沖米海兵隊及び宜野湾市の三者共催により、3月31日に返還されたキャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還式及び祝賀会を開催しました。

返還式及び祝賀会では、菅内閣官房長官、左藤防衛副大臣、翁長沖縄県知事をはじめとする多数の関係者が出席し、返還を祝いました。

式典では、菅内閣官房長官、翁長沖縄県知事、佐喜眞宜野湾市長、ハドソン米海兵隊太平洋基地司令官が祝辞を述べられました。その後、井上沖縄防衛局長及びハドソン米海兵隊太平洋基地司令官から佐喜眞宜野湾市長及び又吉宜野湾市軍用地等地主会会長に対して、キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還を象徴する鍵が手渡されました。

また、又吉宜野湾市軍用地等地主会会長による乾杯の音頭により幕を開けた祝賀会は、左藤防衛副大臣、大城宜野湾市議会議長及び河合沖縄総合事務局長が祝辞を述べられたほか、地元普天間一区スイミー子供会及びジュニアリーダーによる獅子舞が披露される中、参加者一同和やかな雰囲気の中歓談し、キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還を心から祝いました。

菅内閣官房長官祝辞



本日、翁長知事、佐喜眞市長、ハドソン司令官、又吉地主会会長、日米の関係機関及び地元の方々の皆様のご臨席の下、西普天間住宅地区の返還式典が開催されることを大変喜ばしく思います。この住宅地区が先月31日に返還を迎えたことは、ご列席の皆様を始めとする関係者一人一人のご尽力のたまものであり、この場をお借りして心より敬意を表します。

安倍政権としては、沖縄の負担軽減を目に見える形で一つ一つ実現してまいります。また、沖縄の特性を活かした沖縄振興策に皆さんと連携して取り組むこととお約束し、私の挨拶とさせていただきます。

※祝辞内容については抜粋して掲載しております。

翁長沖縄県知事祝辞

去る3月31日、西普天間住宅地区の返還を迎えました。

これまで、返還にご尽力されました日米両政府ならびに関係者の皆様に、深く敬意を表します。

また、3月30日には、地主会、特に西普天間住宅地区の地権者の皆様から強く要望されていた土地取得制度の拡充が盛り込まれた、跡地利用推進法の一部を改正する法律が成立いたしました。この場をお借りしまして、山口沖縄担当大臣をはじめ関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

沖縄県といたしましても、宜野湾市と連携しながら、円滑な跡地利用が実現するよう取り組んでまいりますので、政府におかれましても、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。結びに、返還にご尽力されました関係者の皆様に重ねて敬意を表しますとともに、本日ご臨席の皆様のご健勝を心から祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

※祝辞内容については抜粋して掲載しております。



佐喜眞宜野湾市長祝辞



キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還式を開催するにあたり、宜野湾市を代表してご挨拶申し上げます。

キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)につきましては、平成8年のSACO最終報告から19年目にあたる本年3月31日に返還がなされました。これもひとえに本日政府を代表してお越しいただいている菅官房長官をはじめ、ご列席いただいている関係者の皆様の多大なるご協力とご尽力の賜と深く感謝申し上げます。

同地区のまちづくりが、地権者の皆様をはじめとする市民、県民が返還されてよかったと思えるよう、「国際医療拠点」形成の実現に向けて全力で取り組んでいくとともに、加えて将来返還を控える普天間飛行場の跡地利用につながる先行モデル地区として国、県及び地権者と連携した取り組みを継続して参ります。結びに、関係各位におかれましては、今後とも更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※祝辞内容については抜粋して掲載しております。

ハドソン米海兵隊太平洋基地司令官祝辞



菅内閣官房長官、左藤防衛副大臣、翁長沖縄県知事、高田外務省沖縄担当大使、井上沖縄防衛局長、佐喜眞宜野湾市長、ウイスラー中將、マグルビー米国総領事、他ご来賓の皆様、本日、このような大切な記念祝賀式典に在日米海兵隊司令官代表として参加できますことは、私の大いに光栄とするところであります。

この式典は、日米間における国家および戦略的レベルでの継続的な協力関係を祝い、沖縄における地元レベルでの二国間関係を祝う式典です。旧西普天間住宅地区は3月31日をもって返還され、本日公式な式典を開催するに至りました。この土地の返還は、共通の目標と強固な同盟国友好関係を維持する日米両政府の継続的な相互努力を証明するものです。

この土地は、主に公共の利用を目的として活用されると理解しております。結びに、返還後の土地の再利用の成功と、宜野湾市の今後のさらなるご発展を祈念申しあげ、私のご挨拶といたします。
※祝辞内容については抜粋して掲載しております。



返還祝賀会



祝賀会で祝辞を述べられる左藤防衛副大臣

今般、西普天間住宅地区が、当初の予定どおり、返還を迎えましたことは、ひとえに御列席の皆様を始めとする関係者一人ひとりの御尽力と御協力の賜であり、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

防衛省といたしましても、円滑な跡地利用が可能となるよう、関係者の皆様方と引き続き連携をとりながら、できる限り早期の土地の引渡しに向けて、支障除去措置などをしっかりと進めてまいる所存です。

※祝辞内容については抜粋して掲載しております。



地元の小中学生によるエイサー及び獅子舞 写真提供:宜野湾市

菅内閣官房長官の沖縄訪問

菅内閣官房長官は、4月4日から5日の日程で沖縄を訪問しました。

4日に糸満市の平和祈念公園を訪れた後、本年3月31日に返還されたキャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還式典に出席しました。

また、5日は、那覇市内のホテルにおいて、翁長沖縄県知事と会談し、普天間飛行場の辺野古への移設について意見交換をしました。



○上写真: 翁長知事との会談の様子
○左写真: 返還式典会場へ向かう菅官房長官

北中城村アワセ土地区画整理組合 街びらき開通式

4月21日、北中城村アワセ土地区画整理組合による街開き開通式がありました。

これは、平成22年7月に返還され同25年3月に土地所有者に引き渡されたキャンプ瑞慶覧(泡瀬ゴルフ場)の返還跡地に同組合が跡地利用を行ったもので、中心施設であるイオンモール沖縄ライカムへのアプローチ道路の開通を祝い式が開催されました。

今後は、医療福祉地区等他の地区の利活用が具体的に始まっていくとのことです。



返還前



返還後

北中城村アワセ土地区画整理組合 吉村理事長のひとこと



平成25年3月の引き渡し後、このような短期間でこれだけ大規模な施設の完成に至ったのは、ひとえに支えてくれた皆様の協力のおかげです。この間、返還特措法が跡地利用特措法に改正され事業推進の後押しとなっております。地権者の合意形成にも苦勞しましたが、引き渡し前の現地立入り等、防衛局の積極的な支援によりここまで辿り着けたことに感謝しております。



開通式テープカット



井上局長の祝辞

与那国島における建設工事安全祈願祭

平成27年4月8日、与那国町久部良地区(駐屯地計画地内)において、与那国(26)駐屯地新設工事安全協議会主催による、沿岸監視部隊配置に係る建設工事の安全祈願祭が挙行され、外間与那国町長をはじめとする多くの関係者の方々及び、当局からは井上局長ほか関係職員が出席し安全を祈願しました。

与那国島への沿岸監視部隊配置に係る施設整備は、平成27年度末の完成に向け、昨年5月より造成工事を進め、約1年を経て、建設工事の安全祈願祭を迎えるに至りました。

本工事は、厳しい自然条件の中で、多くの施設を完成させるという、難度の高い建設工事となっております。

当局としては、安全確保に万全を期すとともに、住民の皆様方の生活環境に十二分に配慮しながら建設工事を進めたいと考えています。



認可外保育施設の防音工事を実施・完成

認可外保育施設の防音工事につきましては、地元からの強い要望を受け、防衛省は、平成25年度末に補助対象施設として追加いたしました。

中央保育園については、嘉手納飛行場を離発着する航空機による騒音を防止又は軽減するため、防衛施設周辺防音事業により、改造防音工事として防音サッシや空気調和設備(エアコン等)の設置に要する費用について補助いたしました。本施設に防音工事を実施したことにより、未来を担う子ども達の保育環境が改善され、さらに、子ども達の個性がより育まれ、健やかに成長し、世界に羽ばたいていくものと確信しております。

当局としては、引き続き、認可外保育施設の防音工事について、地元のご要望に添えるように努めてまいるとともに、今後とも防衛施設周辺にお住まいの皆様方の生活環境の改善のための各種施策の実施に取り組んで参ります。

喜屋武キミ子園長のひとこと

この度、沖縄防衛局の補助事業で、これまで補助の対象となっていなかった認可外保育園である当園の防音工事が実施されたことを大変うれしく思っております。このことは、保育施設の認可・認可外を問わず、「子ども達が健やかに育つ環境に差があってはならない。」という情勢の中、認可外保育園の騒音改善、防音対策事業に積極的に取り組んで頂いた結果だと思っております。本当にありがとうございます。私のモットーである「元気な明るい子ども達」を育てるため、もうひと頑張りしたいと考えております。



駐留軍用地特措法の規定に基づく使用権原の取得

わが国の平和を守る基盤となる自衛隊と在日米軍が使用する防衛施設は、住民の皆さんのご理解とご協力を得ながら円滑に使用していく必要があります。

沖縄県に所在する駐留軍用地として提供する必要のある民公有地については、土地所有者の方々との賃貸借契約の合意により使用権原を取得することを基本としていますが、契約に応じていただけない一部の土地については、駐留軍用地特措法※1に基づき使用権原を取得しています。

同法に基づく手続を行っていた、伊江島補助飛行場等15施設の一部土地については、平成26年12月11日に沖縄県収用委員会※2において使用の裁決が行われました。

沖縄防衛局は、この裁決を受け、平成27年3月31日までに土地所有者への補償金の支払いを完了しました。これにより、駐留軍用地特措法に基づき、平成27年4月1日以降の使用権原を取得することができました。

※1 日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う土地等の使用等に関する特別措置法

※2 収用委員会とは、地方自治法に基づき都道府県に置かれる行政委員会で、土地収用法の定めるところにより、土地収用等に関する裁決その他事務を行う機関

駐留軍用地特措法に基づき使用している土地一覧

H27.4.1現在

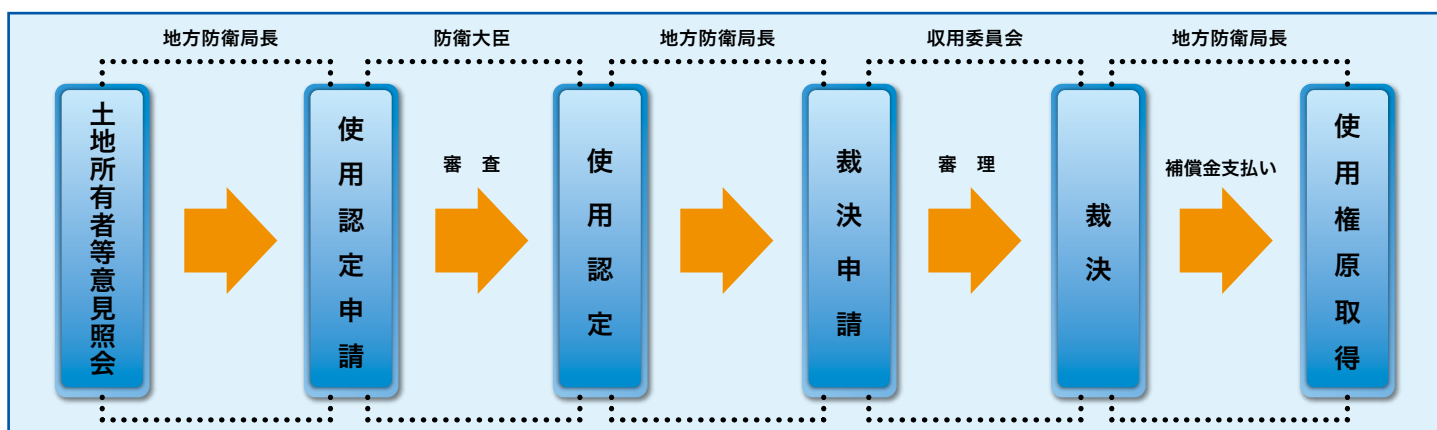
施設名	所有者(名)	筆数(筆)	面積(m ²)	沖縄県収用委員会の裁決	
				裁決日	使用期間
1 普天間飛行場	16	24	30,031.04	平.26.12.11.	平.27.4.1.~平.31.3.31(4年)
2 那覇港湾施設	1	1	294.00		
3 伊江島補助飛行場	6	3	2,784.74	平.26.12.11.	平.27.4.1.~平.32.3.31(5年)
4 キャンプ・シュワブ	1	2	3,007.15		
5 キャンプ・ハンセン	10	14	5,235.14		
6 金武ブルー・ビーチ訓練場	4	27	145,121.42		
7 嘉手納弾薬庫地区	10	45	69,405.45		
8 キャンプ・マクトリアス	1	4	264.00		
9 キャンプ・シールズ	1	3	1,289.13		
10 トリイ通信施設	2	7	3,532.39		
11 嘉手納飛行場	13	17	10,594.02		
12 ホワイト・ビーチ地区	22	3	437.42		
13 牧港補給地区	3	5	3,980.56		
14 陸軍貯油施設	1	1	487.71		
15 キャンプ瑞慶覧 (西普天間住宅地区以外)	2	7	2,774.00		
(西普天間住宅地区)	(1)	25	10,695.71	平.26.12.11.	平.27.4.1.~平.29.3.31(2年)
合計(15施設)	93	188	289,933.88		

※1.所有者及び筆数は、権利取得時(平成27年4月1日)の数値です。

2.西普天間住宅地区の所有者欄の(1)は、キャンプ瑞慶覧の所有者欄2の内数です。

3.面積の計数は、四捨五入によるため符号しないことがあります。

駐留軍用地特措法手続等概略図



幹部職員の紹介

平成27年4月1日付けで、松川労務管理官が着任いたしました。



まつかわ ひろゆき
労務管理官 松川 浩之

本年4月1日付けの人事異動により労務管理官に着任いたしました松川でございます。

沖縄での勤務は、採用以来の23年ぶりです。この4月で3年目を迎えたところです。その間、庁舎は那覇市の久米から前島の「とまりん」、嘉手納へと移りましたが、再度、沖縄の美しい海を見ながら仕事をさせていただいていることに感慨深いものがあります。

当労務管理官室は、独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構沖縄支部と共に、在沖米軍基地に勤務している駐留軍等労働者の労務管理業務を行っております。沖縄には約9千名に近い駐留軍等労働者が勤務しており、その業務は多岐にわたっているところです。

駐留軍等労働者の雇用主として、1つでも多くの課題が解決できるよう、関係機関と調整しながら取り組んでまいりたいと思っております。



【お知らせ】 米軍基地での勤務を希望される方へ

在日米軍従業員の事前募集受付中！

応募は24時間いつでも受付可能なインターネットがおすすめです！

HPアドレス：<http://www.lmo.go.jp> で検索できます。

応募資格 沖縄県在住の満18歳以上の方

応募方法 インターネット又は窓口のいずれか1回の応募で有効です。

- ・インターネット：エルモのHP (<http://www.lmo.go.jp>) を開き、【求人情報】の【沖縄県における事前募集】を御覧ください。(スマートフォンはインターネット応募と同様)
- ・窓口応募：指定の応募用紙に必要事項を記入の上、お申込みください。
- ・応募用紙は下記受付窓口にて配布しています。

受付時間 ・インターネット：年中24時間受付中

・窓口応募：受付時間は午前9時～午後5時30分

(土曜・日曜、祝日及び12月29日～翌年1月3日を除く。)

受付窓口・お問合せ先



独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構(エルモ)沖縄支部 管理課
嘉手納町字屋良1058番地1(道の駅「かでな」隣り) TEL:(098)921-5532



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。
連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9 沖縄防衛局総務部報道室
メールアドレス：houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp